

令和8年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

呉市立昭和北中学校
(昭和北中学校区)

全国平均値との差

	国語	数学
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0
令和8年度	-4.9	-9.0
令和7年度	-3.3	-4.3
令和6年度	-9.0	-9.5
令和5年度	-9.8	-14.0
令和4年度	-3.0	-4.4

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎・・・各学校 ◇・・・中学校区

国語 言葉の特徴や使い方 読むこと 話すこと・聞くこと 書くこと 数と式 図形 関数 データの活用 ● 全国平均 ■ 県平均 ✕ 本校 本校 59.0% 全国 63.9% 県 64.0%	重点課題	◎語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことに課題がある。 (設問4二)【言葉の特徴や使い方に関する事項】(平均正答率23.8%・全国平均との差-11.4ポイント・無解答26.2%) ◇目的に応じて必要な情報を見つけることに課題がある。
	改善の方策	◎様々な文章の中から新しく出合った言葉を取り上げ、辞書にある意味から文脈上の意味を考える習慣を付けさせる。その際、調べたことを記録させたり、その語句を用いた文章を作成させるなど、話や文章の中で使うよう指導する。 ◇文章を整理する際に、関係を表す言葉に着目させるようにする。
	検証	◎語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉える学年末テストの問題(第3学年1月)目標60% ◇様々な語句の中から自ら選択し、文章を作成する学年末テストの問題(全学年1月)目標60%
数学 数と式 図形 関数 データの活用 ● 全国平均 ■ 県平均 ✕ 本校 本校 48.0% 全国 57.0% 県 57.0%	重点課題	◎図形において、与えられた条件から総合的・発展的に考え、条件を変えた場合について証明を評価・改善することに課題がある。 設問8(2) 図形(全国平均との差-24.7ポイント・無解答8.2%) ◇図形の構成要素や性質を理解し、それをもとに見出した事柄や事実を式や言葉を用いて説明することに課題がある。
	改善の方策	◎三角形の合同条件を基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめ、証明から新たな性質を見出す活動を取り入れる。また、条件を変えた場合について、証明を評価・改善し、それを説明し合う場面を設定する。 ◇図形の定義や性質を使って説明したり作図したりする活動を多く仕組む。
	検証	◎◇図形 学年末テストの問題(第3学年1月)目標50%

【来年度に向けて】